

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 1 4 号
件 名	旧新潟市會津八一記念館の解体事業の議決の延期について
要 旨	<p>新潟市中央区西船見町 5932 番地 561 にあった新潟市會津八一記念館が、新潟日報メディアシップ内に移転したことに伴い、旧記念館の建物が取り壊され、跡地が八一の顕彰を兼ねたお休み所的な空間として整備される計画とのことです。</p> <p>去る 9 月 5 日、4 つの団体の求めに応じて新潟市が開催した建築見学会では、シンプルで力強く、周囲の景観にも配慮された優秀なモダニズム建築であるという評価が多く聞かれました。この建築は戦前戦後新潟で活躍した旧第四銀行住吉町支店の設計者長谷川龍雄氏（1895 年から 1966 年）の子息で、新潟市で活躍された建築家長谷川洋一氏（1925 年から）の代表作品です。日本各地のすぐれたモダニズム建築を紹介した DOCOMOMO JAPAN（モダン・ムーブメントにかかわる建物と環境形成の記録調査及び保存のための国際組織日本支部）100 選の選定にもかかわられた建築家兼松紘一郎氏も当日見学会に参加され、高い評価をされました。建築の専門家集団である日本建築家協会が、この建築の価値を認め、保存の要望書を近く新潟市と市議会に提出されると聞いています。</p> <p>市はこの 9 月に旧會津八一記念館解体事業の議案を市議会に提出する予定とのことですが、こうした評価がなされつつある建築の解体を拙速に決定しないでください。文化、観光、まちづくり、地域振興など、より多様な観点から、この建築の保存活用をも選択肢に入れた検討を先行して行っていただくことを要望します。</p> <p>貴議会におかれましては、より有効に公金を活用する発想や方策がないかどうか、慎重な御検討と御討議をお願いいたします。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 26 年 9 月 22 日 文教経済常任委員会
受 理	平成 26 年 9 月 11 日 第 2 8 3 号